

J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



暑中お見舞い申し上げます。「今年一番の猛暑」が更新される毎日ですが、みなさんお元気でしょうか？さて、「もうら症例キャンペーン」も炸裂中！J-DAVID試験もどんどん「熱く」なっています。先日ご案内いたしました試験計画書の修正について、大阪市大医学部倫理委員会で承認されました。最新のversion 2.1を同封いたしておりますので、ご確認ください。

世話人からのメッセージ

「 J - D A V I D 試 験 に 思 う 」

自治医科大学内科学講座腎臓内科学部門
草野 英二先生

J-DAVID 試験のホームページの冒頭に「最近になり、活性型Vit Dの新たな作用として、心臓病や動脈硬化を予防するなど、元気で長生きするのに役立つ可能性が指摘され、内外の学会で注目されています。透析患者さんにとって「ビタミンDは長寿ホルモン」となるかもしれないのです。」という件がある。

私は以前から老化抑制遺伝子のklothoに興味を持っている。ことにこの遺伝子が腎臓の遠位尿細管に存在することから興味を持った次第である。従来から腎不全では老化が促進されて心血管系障害や死亡が多いことはよく知られていたが、ここに及んでさらにクローズアップされている。従来の仮説ではCKDの進行とともに尿毒症物質が蓄積して細胞や臓器の障害を惹起するが、klothoの発見によりCKDの進行により老化抑制遺伝子の減少により循環血液中にklotho蛋白が減少したり、その作用が減弱

して老化が促進されると想像されそのようなエビデンスが徐々に蓄積されつつある。最近、このklotho遺伝子の発現は活性Vit Dの投与、リンの制限や亜鉛の補充で



発現が増加することが報告されている。薬剤ではスタチンや甲状腺ホルモンなどはklotho遺伝子の発現を増加する。高リン食、アンギオテンシンII、エストロゲンなどは、逆にこの遺伝子の発現を抑制する。透析患者の長寿を得るためには、出来るだけこのklotho遺伝子発現を増加させる必要があり、その意味ではVit Dはまさに理にかなった薬剤と考えられる。

私は、最近また甲田光雄先生の「小食が健康の原点」なる本に興味を持っているが、腎不全患者の食事療法もある意味では「小食」である。近い将来小食が本当にklotho蛋白の血中濃度を増加するかどうかを検証したいと考えている。

最近の文献から

ビタミンDとカルシウム補給の心血管イベントの予防効果(系統的総説)

Systemic Review: Vitamin D and calcium supplementation in prevention of cardiovascular events.

Wang L, et al. Ann Intern Med 152: 315-323, 2010

【ポイント】ビタミンDとカルシウム補給がCVDイベント予防効果を有するかどうかを、17の前向き研究とRCTからメタ解析している。活性型ビタミンDではない点に注意。中等度から高用量のビタミンD補給はCVD予防につながるが、カルシウム補給はつながらない可能性が示されている。

【詳しくは】<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/20194238>

最新進捗状

累計登録数のランキング・進捗状況等を報告致します。(7月26日現在)

各地区登録進捗

| 地区 | 施設数 | 累計登録数 | 今月登録数 |
|--------|-----|-------|-------|
| 北海道 | 8 | 79 | 1 |
| 山形 | 3 | 6 | 0 |
| 宮城 | 5 | 2 | 0 |
| 東京 | 29 | 54 | 3 |
| 栃木 | 2 | 0 | 0 |
| 茨城・千葉 | 16 | 2 | 0 |
| 神奈川 | 5 | 12 | 0 |
| 愛知 | 17 | 7 | 0 |
| 大阪・兵庫 | 52 | 233 | 9 |
| 奈良・和歌山 | 12 | 38 | 0 |
| 京都 | 5 | 67 | 0 |
| 広島・岡山 | 6 | 18 | 0 |
| 島根 | 8 | 5 | 0 |
| 徳島 | 2 | 5 | 0 |
| 高知 | 3 | 14 | 0 |
| 愛媛 | 1 | 18 | 0 |
| 福岡・佐賀 | 11 | 5 | 0 |
| 沖縄 | 7 | 4 | 0 |
| 合計 | 192 | 569 | 13 |

累計登録数ランキングTOP10

| 順位 | 施設名 | 登録件数 |
|----|---------------|------|
| ① | 井上病院／大阪 | 55 |
| ② | 桃仁会病院／京都 | 47 |
| ③ | 北彩都病院／北海道 | 28 |
| ④ | 翠悠会診療所／奈良・和歌山 | 27 |
| ⑤ | 永山クリニック／大阪 | 25 |
| ⑤ | 札幌北楡病院／北海道 | 25 |
| ⑦ | 佐藤循環器科内科／愛媛 | 18 |
| ⑧ | 小野内科／大阪 | 16 |
| ⑨ | 大野記念病院／大阪 | 15 |
| ⑨ | 西陣病院／京都 | 15 |

7月度登録数ランキングTOP5

| 順位 | 施設名 | 登録件数 |
|----|-------------|------|
| ① | 東香里病院／大阪 | 5 |
| ② | 河村クリニック／大阪 | 3 |
| ③ | 三軒茶屋病院／東京 | 2 |
| ④ | 苫小牧日翔病院／北海道 | 1 |
| ④ | 石切生喜病院／大阪 | 1 |
| ④ | 吉祥寺あさひ病院／東京 | 1 |

症例報告書回収状況報告

| 登録 | 観察開始時 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 12ヵ月 | 18ヵ月 |
|-----|-------|-----|-----|------|------|
| 569 | 458 | 332 | 256 | 118 | 49 |

J-DAVID事務局からお知らせ



症例報告書郵送時のお願い

症例報告書を郵送される際は、お送りしておりますエクスパックをご利用頂き、原本をJ-DAVID事務局へお送り下さい。ご施設では、原本のコピーを保管頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

服薬コンプライアンス調査票について

被験者の割付群が投与群・非投与群に関わらず、症例報告書のコンプライアンス調査票には服薬状況をご記入の上、提出して頂きますよう宜しくお願い致します。



編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分沁病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
J-DAVID試験データセンター
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

ホームページもご覧下さい。
<http://j-david.info/>